

平成22年6月7日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2007年度～2009年度
 課題番号：19520163
 研究課題名（和文）ウィーン国立民族学博物館およびバイエルン州立図書館所蔵日本絵巻の調査研究
 研究課題名（英文）A Study of the Japanese Picture Scrolls Owned by the National Museum of Ethnology of Vienna and State Museum of Bavaria.
 研究代表者
 辻 英子（TSUJI EIKO）
 聖徳大学・人文学部日本文化学科・教授
 研究者番号：80236877

研究成果の概要（和文）：ウィーン国立民族学博物館およびバイエルン州立図書館所蔵日本絵巻を中心に稀覯本を発掘調査し、それに関連する国内外の写本新史料の収集および書誌学的研究（翻刻・本文研究）および論考をまとめた。その成果は、いずれも掲載許可交付を得て、平成22年度日本学術振興会科学研究費補助金 研究成果公開促進費に拠り、『在外日本重要絵巻集成』（笠間書院 2010、A5判 966頁）として2010年度中に刊行予定である。内容は〔研究編〕に論考四編四章、五作品および付論二編を、さらに〔影印編〕には十一作品を収める。その詳細については後に述べる「4. 研究成果」に記す。

研究成果の概要（英文）：I had mainly carried on a research study at the National Museum of Ethnology of Vienna(Wiener Museum für Völkerkunde) and State Museum of Bavaria (Bayerische Staatsbibliothek) for finding the rare Japanese illustrated manuscripts and picture scrolls owned by them.

I had done a bibliographic research of the reproduction and transcriptions and texts and of the related collections owned by other overseas museum and libraries and those available in Japan.

The results of the work will be published, a book of A5 size and 966 pages in the fiscal year 2010, by the Kasama Shoin in under the title of “The Compilation on Study in Collection of Important Japanese Illustrated Manuscripts and Picture Scrolls Owned by the Museums and Libraries Abroad” in number (225028) by Japan Society for the Promotion of Science (JSPS) Grant-in-Aid for Publication of Scientific Research Results”.2010, for which the permission for using their articles had granted.

It contains two major parts, namely the study volume consisting of four chapters and the five works, consisting of the two additional papers. More over, reproduction volume with the eleven works. Its detailed descriptions will be given in the "4 article of the study results, subject number (19520163) in Grant-in-Aid for Scientific Research(C).

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
19年度	1,600,000	480,000	2,080,000
20年度	1,100,000	330,000	1,430,000
21年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
年度			
総計	3,500,000	1,050,000	4,550,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：日本絵巻・日本文学・美術史・文学一般

1. 研究開始当初の背景

(1) 1976年9月、ヨーロッパ日本研究協会国際会議(EAJS)第一回大会がスイスで、1978年第一回奈良絵本国際研究会議がダブリンのチェスター・ビーティーライブラリーで開催され、市古貞次・岡見正雄・バーバラ・ルーシュ・松本隆信教授等が中心となり、徳田和夫氏が加わり成果を上げ、その様子は『お伽草子の世界』(三省堂)に伝えられている。その後、1990年に国文学研究資料館の海外調査の対象に同図書館の所蔵品が選ばれ、続く1992年に『在外奈良絵本』(奈良絵本国際研究集会 角川書店)、1995年に梅津次郎監修『角川絵巻物総覧』が刊行された。その間、ダブリン大会を継承する組織的な動きはなく、海外における絵入本の調査研究は、個人研究に委ねられてきたと言ってよいだろう。

(2) 本研究は、1980年後半より担当者が行ってきた在外日本絵巻の総合的研究の一貫をなすものである。これまでに海外に所蔵されている物語絵巻の善本を発掘し、新資料の収集とそれに関連する国内外の資料との対比による本文研究を行い学界に提供してきた。

2. 研究の目的

本研究で取り上げる課題は、ドイツ・オーストリア国における博物館・図書館所蔵日本絵巻の調査研究を中心に、その周辺と日本国内の関連資料を視野に入れつつ考察するものである。そして、収集史料の書誌学的基礎的研究を目的とし、通称鎌倉室町時代物語と呼ばれるこれらの作品が日本の社会で果たした役割を考証しつつ、文学的・美術史的・文化史的特質の解明を目指すものである。

3. 研究の方法

(1) 写本の所在調査と史料収集：

①ウィーン国立民族学博物館(Museum für Völkerkunde)所蔵『西行記』四巻 写本(113.892-113.895、フランツ・フェルディナンド大公Erzherzog Franz Ferdinand von Österreich旧蔵)

②同館所蔵『化物画』(探幽筆 模本、Or. 27256)

③バイエルン州立図書館(Bayerrische Staatsbibliothek)所蔵『源氏小かゝみ』(Cod. Jap. 14, P.F. シーボルト旧蔵)五巻写本

④バイエルン州立図書館所蔵『源氏物語』(Cod. Jap. 18, P.F. シーボルト旧蔵)五十四帖 小野通筆
(資料収集済、大部のため機を見て公開予定である。)

(2) 翻刻作成・本文研究・研究成果公開：

(1)の①③およびその他の成果公開の詳細については、重複を避けるために後述の「5. 主な発表論文等」の項を以って替える。

4. 研究成果

(1)平成19年度～平成21年度の研究結果公開(「主な発表論文」に提示)および未公開論考を含め、後に述べる〔図書〕の項目に記す拙著『在外日本重要絵巻集成』^{研究編}_{影印編}(別冊)を以って報告書に替える。なお本書の刊行は、平成22年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)・種目 学術図書・課題番号 225028によるものである。
以下に「目次」を引用する。

『在外日本重要絵巻集成』

〔研究編〕

はじめに(付、英文)

凡例

I イギリス・大英図書館所蔵『源氏物語詞』の本文と解説

『源氏物語詞』詞書

大英図書館所蔵『源氏物語詞』とその周辺

一 大英図書館所蔵『源氏物語詞』

- 1 染筆者について
- 2 参勤公卿の『源氏物語』講釈・書写の日々 付、古今伝授
- 3 成立年代について
- 4 鳳林承章
- 5 本文について

二 松井文庫所蔵『小倉山荘色紙和歌』

- 1 松井家と『小倉山荘色紙和歌』
- 2 染筆者と成立年代
- 3 染筆者常修院常尹法親王について

- て
- 4 『源氏物語詞』および『小倉山荘色紙和哥』伝承筆者の未確定筆跡について
- 三 『多武峯縁起絵巻』
- 1 多武峯と後水尾天皇
 - 2 成立年代について
おわりに
- 資料一 染筆者対照表
- 資料二 参勤公卿の『源氏物語』講釈・書写の日々 付、古今伝授
— 『後水尾天皇実録』より—
- 資料三 鳳林承章
- 資料四 『源氏物語詞』染筆者の官位詳細
- 資料五 『源氏物語詞』染筆者の在官位一覧表 付『小倉山荘色紙和哥』 『多武峯縁起絵巻』
- 資料六 松井文庫所蔵『小倉山荘色紙和哥筆者目録』
- 資料七 『小倉山荘色紙和哥』のみにみえる染筆者の官位詳細
- 資料八 『小倉山荘色紙和哥』のみにみえる染筆者の在官位一覧表
- 資料九 住吉如慶画『源氏物語扇面画帖』の詞書との関係
- II ドイツ・バイエルン州立図書館所蔵『源氏小かゝみ』の本文と解説
『源氏小かゝみ』詞書
『源氏小かゝみ』解題
一 形態・書誌 二 『源氏小かゝみ』の類本 三 本文について
四 挿絵について 五『源氏物語画帖』と『源氏物語詞』 六 『源氏小かゝみ』の価値 補記 〈えけ〉について
- III オーストリア・ウィーン国立民族学博物館所蔵『西行記』の本文と解説
『西行記』詞書
『西行記』解題
『西行記』および『西行物語絵巻』現状一覧
- IV オーストリア・ウィーン国立民族学博物館所蔵『化物画』について
- V 日本・神奈川県立歴史博物館個人所蔵『俵藤太物語』の本文と解説
『俵藤太物語』詞書
『俵藤太物語』の本文について
一 『俵藤太物語』
二 群馬県立歴史博物館所蔵本と神奈川県立歴史博物館個人所蔵本
三 群馬県立歴史博物館所蔵本と学習院大学日本語日本文学科所蔵本

- 付論 I 一 『日本感霊録』善報・悪報の見聞集
一 選者のこと
二 抄録本十五箇条および佚文二条の撰述年代とその概要
三 善報・悪報譚 1 善報 2 悪報
一救われざる寺物盗用者
まとめ
二 『日本感霊録』第七縁「靈験の簿（倭言、布美多）」について—オーストリアのマリアツエル修道院奉納絵文の問題をも含めて—

- 付論 II 日本語・日本文学研究と国際性の問題
はじめに
一 ウィーン大学日本学科の歴史と現状
1 ウィーン大学日本学科 2 歴史と現状 3 日本語教育の現状 4 大学制度の改革と学生数の変動 5 日本の諸大学と相互協力の変遷 6 ヨーロッパの日本研究における画像研究
二 ドイツにおける日本研究の歴史
1 過去・現在 2 研究者の系譜 3 日本コレクション総合データベース化の試み
三 オランダ・ライデン大学における日本研究
1 最初のヤパノロジスト ホフマン 2 日本語教育の現状 3 ライデン大学日韓研究所
四 イギリスにおける日本研究の展開と図書館
1 歴史的背景と展開 2 両大戦の間の日本研究 3 日本研究の現状 4 最近の展開と総合目録
五 国際会議から
1 ヨーロッパ日本研究協会国際会議 (EAJS)
2 日本資料専門家欧州協会
3 奈良絵本・絵巻国際会議
まとめ

初出・未公開一覧
あとがき (付、英文)

〔影印編〕

はじめに (付、英文)

アメリカ編

- I フリーア美術館所蔵『鶴草紙』
- II フリーア美術館所蔵『地藏菩薩霊験記』

イギリス編

- I 大英図書館所蔵所蔵『地藏菩薩靈驗記』
- II 大英図書館所蔵『源氏物語詞』
- III 大英博物館所蔵『息吹童子』

ドイツ編

- I ベルリン国立図書館所蔵『蓬萊物語』
- II ベルリン国立図書館所蔵『月王・乙姫物語』
- III ベルリン国立図書館所蔵『おちくぼ』
- IV ベルリン国立図書館所蔵『元興寺縁起』

オーストリア編

- I オーストリア国立工芸美術館所蔵『さゝれ石』

日本編

- I 松井文庫所蔵『小倉山荘色紙和哥』

(2)上記の研究は〔研究編〕の「はじめに」に記したように、本科学研究費補助金とともに課題「在外日本絵巻の調査研究—大英図書館およびベルリン国立図書館所蔵日本絵巻を中心に—」に対する第36回(平成19年度)三菱財団法人人文科学研究助成の交付を受け、あわせて姉妹編をなす研究でもある。

〔研究編〕「I イギリス・大英図書館所蔵『源氏物語詞』の本文と解説」より内容の一端を紹介すると、例えば『源氏物語詞』の染筆者五十四人を軸としてみると、松井文庫所蔵『小倉山荘色紙和哥』は、五十名のうち三十七名が、また、『談峯縁起便蒙』による『多武峯縁起絵巻』の染筆者は、四十三名中三十名が共通する。三書に共通するのは二十三名で、これらは後水尾天皇周辺に近習する公卿等の筆によるいわば連環の書であることを特筆しておきたい。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計7件)

(平成21年度の研究成果)

- ①辻 英子、バイエルン州立図書館蔵『源氏小かゝみ』(巻五) 解題・翻刻、慶應義塾大学『三田国文』第五十一号、査読有、2010、pp. 33-52、
- ②辻 英子、バイエルン州立図書館蔵『源氏小かゝみ』(巻四) 解題・翻刻、慶應義塾大学『三田国文』第五十号、査読有、2009、pp. 49-74、
- ③辻 英子、バイエルン州立図書館蔵『源氏小かゝみ』(巻三) 解題・翻刻、慶應義塾大学『三田国文』第四十九号、査読有、

2009、pp. 47-64、

(平成20年度の研究成果)

- ④辻 英子、日本語・日本文学研究と国際性の問題、全国大学国語国文学会『文学・語学』第192号、査読有、2008、pp. 24-36、
- ⑤辻 英子、バイエルン州立図書館蔵『源氏小かゝみ』(巻二) 解題・翻刻、慶應義塾大学『三田国文』第四十八号、査読有、2008、pp. 43-63、
- ⑥辻 英子、バイエルン州立図書館蔵『源氏小かゝみ』 解題・翻刻、慶應義塾大学『三田国文』第四十七号、査読有、2008、pp. 78-99、

(平成19年度の研究成果)

- ⑦辻 英子、ウィーン国立民族学博物館蔵『西行記』(秋・冬) 解題・翻刻、慶應義塾大学『三田国文』第四十四号、2007、pp. 57-78、

(事前調査時平成18年度の研究発表

- 辻 英子、ウィーン国立民族博物館蔵『西行記』(春・夏) 解題・翻刻、慶應義塾大学『三田国文』第四十三号、2006、pp. 35-53、)

〔学会発表〕(計3件)

- ①辻 英子、大英図書館蔵『源氏物語詞』とその周辺、奈良絵本・絵巻国際会議 ワシントン大会、2009、ワシントン DC フリーア美術館、
- ②辻 英子、大英図書館蔵『源氏物語詞』成立の背景、全国大学国語国文学会、2008、関西学院大学、
- ③辻 英子、日本語・日本文学の国際性の問題、全国大学国語国文学会、2008、和洋女子大学、

〔図書〕(計1件)

辻 英子、在外日本重要絵巻集成、笠間書院、A5判 966頁、2010、定価 22,050円(印刷中)

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：

出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

雑誌論文『三田国文』掲載論文は、ウェブ
サイト検索が可能である。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

辻 英子（聖徳大学・人文学部・教授）

研究者番号：80236877

(2) 研究分担者

(0)

研究者番号：

(3) 連携研究者

(0)

研究者番号：